

令和2年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


教 育 原 理

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「教育基本法」の条文の一部として誤ったものを一つ選びなさい。

- 1 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。
- 2 教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。
- 3 幼稚園に入園することのできる者は、満三歳から、小学校就学の始期に達するまでの幼児とする。
- 4 宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活における地位は、教育上尊重されなければならない。
- 5 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

問2 次の文は、「学校教育法」第22条に関する記述である。(A)～(C)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

幼稚園は、義務教育及びその後の(A)の基礎を培うものとして、幼児を(B)し、幼児の健やかな成長のために適当な(C)を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|----|----|----|
| 1 | 福祉 | 保護 | 環境 |
| 2 | 福祉 | 保育 | 食事 |
| 3 | 教育 | 保育 | 環境 |
| 4 | 教育 | 訓練 | 教材 |
| 5 | 習慣 | 保育 | 環境 |

問3 次の文は、「幼稚園教育要領」第1章「総則」の一部である。(A)～(C)
にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

幼稚園においては、生きる力の基礎を育むため、この章の第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえ、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。

- ・ (A) を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
- ・ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、(B) 等の基礎」
- ・ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「(C)、人間性等」

(組み合わせ)

	A	B	C
1	豊かな体験	実現力	学びに向かう力
2	豊かな体験	体力	共生力
3	豊かな体験	表現力	学びに向かう力
4	基本的な学習	表現力	判断力
5	基本的な学習	体力	判断力

問4 次の文は、ローレンツ (Lorenz, K.) に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 心理学者として、「集合的無意識」の概念を提起した。
- 2 著書『児童の世紀』のなかで、家庭教育の大切さを主張した。
- 3 絵と文字によって構成される書籍、『世界図絵』を著した。
- 4 早熟性の鳥のひなが孵化直後に直面した対象に対して長期にわたる追従反応を示す現象を「インプリンティング (刻印づけ・刷り込み)」と名づけた。
- 5 「自由」と「共同」を原理とする個別学習方法である「ドルトン・プラン」を開発し、生徒の興味に応じて学習教科を選択させた。

問5 次の文の著者として、正しいものを一つ選びなさい。

人間は生後一歳になって、真の哺乳類が生まれた時に実現している発育状態に、やっとたどりつく。そうだとすると、この人間がほかのほんとうの哺乳類なみに発達するには、われわれ人間の妊娠期間が現在よりもおよそ一カ年のばさされて、約二ヶ月になるはずだろう。

- 1 ロジャーズ (Rogers, C.R.)
- 2 エリクソン (Erikson, E.H.)
- 3 スキナー (Skinner, B.F.)
- 4 ワトソン (Watson, J.B.)
- 5 ポルトマン (Portmann, A.)

問6 次の文は、ブルーナー(Bruner, J.S.)に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもが一人で解くことができる問題によって規定される現在の発達水準と、他者との協同の中で解くことができる問題によって規定される可能的な発達水準の違いによって定義される発達の最近接領域の概念を初めて提唱した。
- B 彼が議長を務めたウッズホール会議の報告書として出版された『教育の過程』では螺旋型カリキュラムが提案された。
- C 子どもの言語習得に関する研究を行い、言語と文化に同時に参入する手段としてのフォーマットの役割に注目した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × |

問7 次の文は、子ども観と教育観の歴史に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 ペスタロッチ(Pestalozzi, J.H.)は『エミール』において、大人とは異なる子ども固有の思考や行動の特徴に従った教育論を展開した。
- 2 カント(Kant, I.)は『教育学』の中で人間は教育されなければならない唯一の被造物であると述べている。
- 3 フレーベル(Fröbel, F.W.)は幼稚園(Kindergarten)の創始者として知られている。
- 4 アリエス(Ariès, P.)は『<子供>の誕生 -アンシャン・レジーム期の子供と家族生活-』において、ヨーロッパにおける中世芸術などの分析を通して、中世には子ども期という観念は存在していなかったと述べた。
- 5 ポストマン(Postman, N.)は『子どもはもういない』において、テレビなどの読み書き能力なしでも理解できるメディアの普及によって子ども期が消滅しつつあると述べた。

問8 次の文は、倉橋惣三に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 日本におけるヘルバルト(Herbart, J.F.)の教育思想の紹介者として知られる。
- 2 日本で最初の幼稚園である東京女子高等師範学校附属幼稚園において主事を務めた。
- 3 幼稚園は教師が直接子どもに接する前に設備によって保育するところであり、設備の背後に教師の教育目的が隠れていると説いた。
- 4 「生活を生活で生活へ」という言葉に表現されるように、子どもの自然な生活に幼稚園を順応させていくべきであると主張した。
- 5 高等女学校の修身教科書を著すなど、女子教育にかかわる活動も行った。

問9 次の文は、生涯学習に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生涯学習とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習の意味で用いられている。
- B 生涯学習とは、義務教育期間に行われるべきとされている。
- C 「教育基本法」には、生涯学習の理念に関する規定は存在しない。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	×	×
3	×	○	×
4	×	×	○
5	×	×	×

問 10 次の文は、「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について（通知）」（平成 27 年 4 月 30 日 文部科学省）の内容に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 性同一性障害に係る児童生徒の支援は、最初に相談を受けた者だけで抱え込むのではなく、組織的に取り組むことが重要であると述べられている。
- 2 性同一性障害にかかわらず、性的マイノリティとされる人々に関する知識を、学習指導要領の記述に縛られることなく、各教員の自由な判断であらゆる機会をとらえて教育内容の中に含めていくべきであると述べられている。
- 3 教職員等間の情報共有に当たっての配慮事項の一つとして、児童生徒が自身の性同一性を可能な限り秘匿しておきたい場合があること等に留意しつつ、学校として効果的な対応を進めるために、当事者である児童生徒やその保護者に対し、情報を共有する意図を十分に説明・相談し、理解を得ながら対応を進めることが挙げられている。
- 4 医療機関で性同一性障害の診断がなされない場合であっても、児童生徒の悩みや不安に寄り添い支援していく観点から、医療機関との相談の状況、児童生徒や保護者の意向等を踏まえつつ、支援を行うことが可能であると述べられている。
- 5 別紙には、性同一性障害に係る児童生徒に対する学校における支援の事例として、自認する性別の制服・衣服や、体操着の着用を認めることが挙げられている。